

サミット町民会議解散へ 「自信と誇り」という資産残す

8月28日、北海道洞爺湖サミット推進町民会議（会長・長崎良夫町長）の9回目の会議が、各団体の代表約50人が出席して、役場防災研修ホールで開催し、事業の目的を達成したとして、1年余りの活動の総括を行い、同会議の解散を決定しました。

同会議は、昨年6月28日に町内42団体により発足。「総務・企画部会」、「観光・イベント部会」、「環境・美化部会」、



解散を決めた第9回サミット推進町民会議

「広報・記録部会」の4つの専門部会を設置し、開催準備の体制を整え、洞爺湖町の魅力を発信してきました。

会議では、長崎町長が「サミットが成功に終わりました。皆さんのご尽力大変ありがとうございました」とお礼の挨拶。

続いている総括では、「議長国としての責務を果たし世界的に高い評価を得られた」とサミット全体を振り返り、「サミット期間中、不自由を感じさせないおもてなしの取組みを一丸となつて実施した」、「町民の意識の中に、大きな達成感加え『自信と誇り』と言つ、貴重な心の資産を残すことができました」とこ

れまでの活動を積極的に評価しました。

今後の活動としては、広報・記録部会の構成員をメンバーとす

るサミット開催記念記録誌作成委員会（仮称）を組織して、記念記録誌を作成することが決定されました。

安倍前首相

サミットモニュメントを訪問 洞爺湖開催の決断は正しかった

8月29日、安倍前首相が来町し、洞爺湖温泉に設置してある「北海道洞爺湖サミット宣言の地」モニュメントを訪れま

した。

同モニュメントは、サミット後の観光スポットとして、正式名称を「北海道洞爺湖サミット」と発表した地



完成したモニュメントを見つめる安倍前首相

に建立。モニュメントに書かれた「北海道洞爺湖サミット」という字は、同サミットの名付け親ともいふべき安倍前首相の直筆となっています。

前首相は、昭恵夫人と母親の洋子さんを伴い会場に入ると、長崎

良夫町長ら関係者の熱烈な歓迎を受け、自分で揮毫（きごう）した同モニュメントをじつと眺め、感慨深そうな表情を浮かべました。

安倍前首相は、「モダンな形でびっくりした」とモニュメントについて述べた後、「（洞爺湖は）環境と自然が素晴らしい。サミットの場所としては最高の場所。」とサミットを振り返りました。

会場を移しての懇談会では、長崎町長が「サミットの成功が、周辺市町村にとって、この上のない喜びです。心から感謝申し上げます」と当地を決断した前首相に感謝の言葉を述べました。

安倍前首相からは「京都が洞爺湖かで最後まで論議があり、京都との声が大きかったが、環境がテーマということで、北海道での開催を決断した」と決定に至るまでの裏話を披露し、「日本の一大観光スポット地としていただきたい」と今後の期待が述べられました。

山本邦彦道副知事、神戸典臣道議、地元首長らと終始和やかな中で、約1時間の懇談会は終了しました。